

令和3年度千葉市立緑町小学校

研究全体計画

- 1 学校の概要
- 2 研究構想図
- 3 研究主題と主題設定の理由
- 4 研究の視点
- 5 研究の組織
- 6 研究の日程



緑町小学校
公式マスコットキャラクター
「ミーちゃん」

1 学校の概要

1 千葉市立緑町小学校概要

所在地 千葉市稲毛区緑町2-13-1

TEL 043(242)2433 FAX 043(244)6909

校長 島尾 永治

学級数 学級 児童数622名(5/13現在)



本校は、昭和39年4月に弥生小学校から分離、開校して57年の歴史がある。開校直後より、千葉市の研究指定校として公開研究会を行い、自主性・創造性・実践性を基盤とした教育理念を受け継ぎながら、数々の研究会を実施し、質の高い教育と素直で優秀な児童を育てる実践が進められてきた。学区は、JR線と国道14号線に挟まれ、京成線が中央を横断している。平成24年に校舎が新しく建て替えられ、翌年には創立50周年と共に校庭も新しく造りかえられた。新たな環境の中で、これまでの歴史を受け継ぎながら、更なる進化・発展を目指し教育活動に取り組んでいる。

特に理科教育においては、千葉市の理科教育センター校として中心的な役割を果たしてきた。ソニー教育基金よりの受賞も数多くあり、日本初等理科教育研究会全国大会は3度会場校として公開研究会を行った。「みどりっ子学習」として、夏休みの自由研究に全校で取り組んでおり、平成30年度には千葉県児童生徒教職員科学作品展において、学校賞を受賞した。令和元年度には、開校から22回目となる公開研究会を行った。



2 本校の教育

本校では、自らの夢の達成に向けて努力する姿こそ、自己実現に向かって伸びようとする児童の姿であるととらえ、確かな学力と豊かな心、たくましい体の育成を目指して教育活動を進めている。

千葉市の目指すべき子どもの姿

夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども

千葉市学校教育の目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

学校教育目標

夢と希望をもち、たくましく豊かに生きる子どもの育成
— 伸びよ みどりの子 —

〈自主的・主体的な活動〉

- ・体験的な学習の充実
- ・生活科、社会科見学、総合、宿泊体験
- ・みどりっ子学習、みどり発表会
- ・夏休み水泳教室 等

〈ふれあい・思いやりを育む活動〉

- ・たてわり活動
全校遠足、兄弟学級、たてわり給食
たてわり遊び、全校縄跳び大会
- ・ボランティア活動
挨拶運動、清掃美化 等

《考える子》

進んで学ぶ、自分で考え判断する、生活をよりよく改善する

《思いやりのある子》

仲良く助け合う、やさしくおもいやりがある、心ゆたか

《たくましい子》

進んで体をきたえる、意欲をもって生活する、自分らしさを伸ばす

〈表現力・感性を豊かにする活動〉

- ・読書タイム、読み聞かせ、読書まつり
みどり発表会
- ・表現コーナー
読書の広場 短作文 等

〈保護者・地域と連携した活動〉

- ・読書ボランティア
読み聞かせ、読書まつり、図書室開放
- ・ゲストティーチャー
- ・みどり小まつり
- ・おやじ組 等

2 研究構想図

教育の課題

学習指導要領のねらい

- ・知識及び技能が習得されるようにすること
- ・思考力、判断力、表現力等を育成すること
- ・学びに向かう力、人間性等を涵養すること

千葉県学校教育の課題

「わかる授業」の推進に向けた課題

- ・児童生徒がねらいをもつための工夫
- ・見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力を育むための工夫
- ・PDCAサイクルを意識して指導と評価の一体化を図るための工夫

現代社会の要請

- ・未来を切り開くための資質・能力の育成
- ・個別最適な学び、協働的な学びを確実に実施

本校の実態

児童の実態から

- ・表面的な知識で満足することなく、じっくりと事象や現象と向き合い、気付きや思考を深めていく力を育てたい。
- ・友達と関わる中で、自分の考えを深めたり広げたりしながら問題を解決する力を育てたい。
- ・自ら見出した問題をもとに、見通しをもって、主体的に問題を解決する力を育てたい。

学区の実態

- ・住宅地として開発されて発展した閑静な地域と、商業地として発展した地域からなり、自然環境はやや少ない。

【学校教育目標】 夢と希望をもち、たくましく豊かに生きる子どもの育成

令和2年度の課題から

- ・一人一人が問題意識をもち、見通しをもって学習に取り組める学習指導の改善。
- ・友達と関わり合いながら、問題を解決していく学び合い活動の充実。
- ・自分の思いや考えを他者に伝える

研究主題

自ら学びを広げ深める児童の育成 ～理科・生活科の実践を通して～

目指す児童の姿① 「主体的な問題解決」

理科の見方・考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行い、問題解決することができる子
生活の見方・考え方を生かしながら、自立し生活を豊かにしようとする子

目指す児童の姿② 「協働性」

他者と目的や課題を共有し、互いのよさや多様性を生かして問題解決に向かうことができる子

視点1

児童が主体的に問題解決するための指導・支援の工夫

視点2

児童が協働性を働かせて問題解決する手立ての工夫

○日常活動の充実

- ・科学のひろば
- ・発見みどりカード
- ・協働性を育成する取組
- ・ICTの活用
- ・みどりっ子学習
- ・地域資源の活用
- ・生き物の継続飼育
- ・理科専科の取組

3 研究主題と主題設定の理由

研究主題

自ら学びを広げ深める児童の育成 ～理科・生活科の実践を通して～

1 主題設定の理由について

(1) 今日的教育課題から

平成29年告示の現行学習指導要領では、「教育基本法や学校教育法などを踏まえ、これまでの学校教育のすばらしい実践やその蓄積を生かして、子ども達が未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。」を基本方針として示している。そして、令和3年3月30日告示の文部科学省中央教育審議会答申では、向かうべき学校教育の在り方を以下のように述べている。

○急激に変化する時代の中で育むべき資質能力

- ・社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- ・新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

⇩ 新学習指導要領の着実な実施 ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるようにすることが必要

○2020年代を通して実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

①個別最適な学び

個に応じた指導を一層重視 指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実
情報手段を活用するために必要な環境整備 ICT環境の活用 少人数のきめ細やかな指導体制
主体的・対話的で深い学びを実現 家庭の経済事情等に左右されず子供たちに必要な力を育む

②協働的な学び

探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働

一人一人の良い点や可能性を生かすことで、異なる考えが組み合わせ、よりよい学びを生み出す

(答申より一部抜粋)

現代の学校教育は、これまで以上に児童の成長やつまづき、悩み等の理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえて指導・支援することや、児童が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるように促していくことが求められている。さらに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるために、教師と児童、児童同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験等、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶ重要性も高まっている。

また、令和3年度千葉市学校教育の課題「21世紀を拓く」に記載がある「わかる授業」の推進に向けた今年度の課題（小学校理科・生活）は以下の通りである。

<小学校理科>

○理科の見方・考え方を意識的に働かせ、タブレット PC など ICT を効果的に活用するとともに、対話的な学びを通して、問題を科学的に解決する授業の工夫改善に努める。

○理科を学ぶことの意義や有用感を実感できるように、学んだことと自然事象や日常生活との関連を図ったり、振り返りを工夫したりすることによって、評価方法の工夫改善に努める。

<生活>

- 地域・学校の特色や幼児期の教育とのつながりを生かした単元の工夫改善を図り、対象に直接関わる活動を行うことで、主体的な学習になるように努める。
- 伝え合い表現する学習を行うことで学びを振り返ったり、互いの気づきを交流したりし、気づきの質を高める指導の工夫に努める。

「自ら学びを広げ深める児童の育成」という本研究では、児童が学びの見通しをもち、粘り強く取り組む学習過程の中で、他者や対象・事象と関わりながら、自らの考えを新たに作り出し、学び続けることを目指す。また、習得・活用・探求という学習活動の中で、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育成することを目指す。これらを踏まえ、教師が「主体的な問題解決」と「協働性」の視点に立った授業改善を行うことで、児童一人一人のよさや可能性を生かしながら、学びの広がりや深まりの実現を目的とした本主題が、急激に変化する21世紀の学校教育の課題の解明につながるものであると考える。

(2) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は、「夢と希望をもち、たくましく豊かに生きる子どもの育成」である。その学校教育目標をもとに、「考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」の育成をめざし、教育活動を行っている。それぞれを本年度の研究内容に照らし、考察すると、以下に述べられていることが求められている。

【学校教育目標】 夢と希望をもち、たくましく豊かに生きる子どもの育成

めざす子ども像

考える子	思いやりのある子	たくましい子
・進んで学ぶ子 ・自分で考え、判断する子 ・生活をよりよく改善する子	・仲良く助け合う子 ・優しく思いやりのある子 ・心豊かな子	・進んで体をきたえる子 ・意欲をもって生活する子 ・自分らしさを伸ばす子
・見通しをもって問題解決を行ったり、進んで生活や学習に活用したりする子	・友達の考えを尊重し、認め合い、励まし合いながら、学び合うことができる子	・粘り強く問題解決に取り組み、学び続けようとする意志がある子

(3) 研究の経過から

本校では、令和2年度から本主題で研究を進めている。これまで、問題を見いだす場の工夫を行ったり、事物・現象と積極的に関わる時間を意図的に設定したりしたことが主体的な学習態度を育む手立ての工夫として有効であることが分かった。また、単元構成の工夫や、各教科の見方・考え方を十分に理解した上での活動や発問を考えたことで、既習や既存の知識を生かしながら深く学ぼうとする姿が見られた。しかし、全体で個々の学びを共有する時間を設けるが、他者の考えを理解しようとする姿勢や話合いの技術が十分身に付いておらず、一人一人の学びに十分な広がりや深まりが見られないという課題が残った。そこで、児童が情報を他者と共有しながら、対話や議論を通じて互いの多様な考え方の共通点や相違点を理解し、相手の考えに共感したり、多様な考えを統合したりして、新たな考えを見いだすことができるように、本主題を継続しつつも、研究の視点を改める必要があると考えた。

2 主題について

本校では、長年、心を動かされるような体験が児童の学びの大きな原動力となると考え、学習過程において知的好奇心の高まりや成就感・達成感を得られるような支援・指導の工夫について研究を重ねてきた。また、主体的な問題解決に欠かせない「思考力」の育成も目指してきた。

昨年度から、学校教育目標とこれまでの研究の積み重ねをもとに、「自ら学びを広げ深める児童の育成」を主題として研究を進めている。

【主題の捉え方】

「学びを広げる」…学びの見通しをもち、粘り強く取り組む学習過程の中で、他者や対象・事象と関わりながら自らの考えを新たにつくり出し、学び続けていこうとすること。

「学びを深める」…習得・活用・探求という学習活動の中で、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育成すること。

また、このような児童を育むため、今年度は研究の柱を「主体的な問題解決（理科・生活科）」「協働性」の2つ設定し、研究実践を積み重ね、研究主題の実現を目指していく。

【主題にせまるための2本の研究の柱と目指す児童の姿】

「主体的な問題解決」

◎理科の見方・考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行い、問題解決をすることができる子

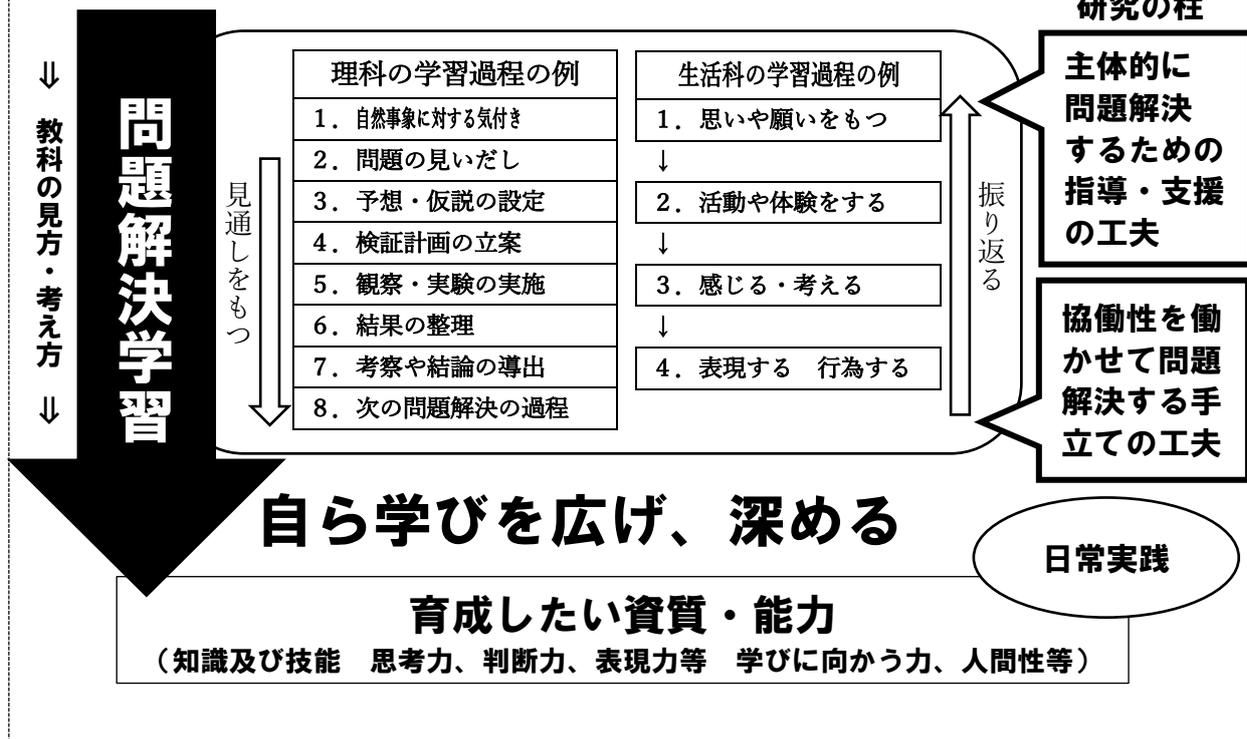
◎生活の見方・考え方を生かしながら、自立し生活を豊かにしようとすることができる子

「協働性」

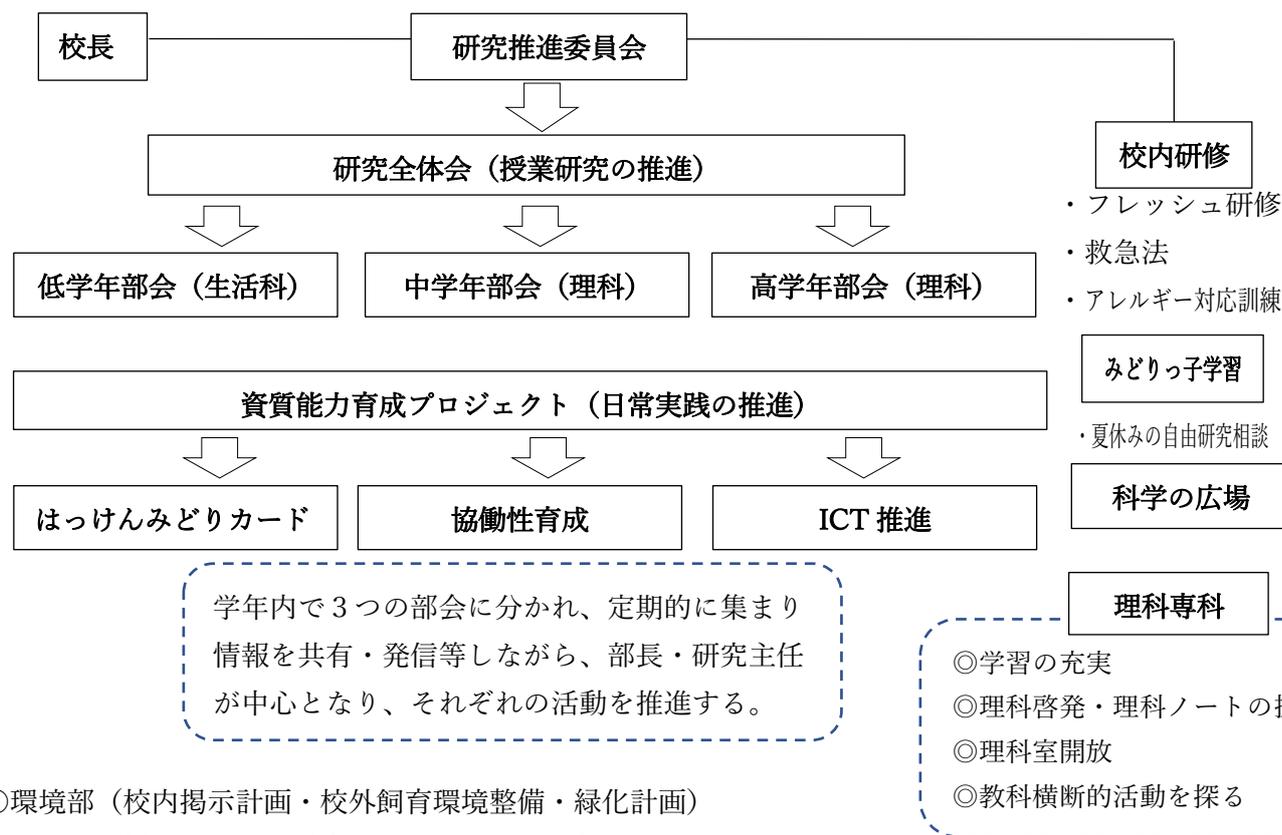
◎他者と目的や課題を共有し、互いのよさや多様性をいかして問題解決に向かうことができる子

それに加え、日常実践と研究組織、授業研究・協議会の活性化等を行い、教育活動の充実を図る。

【研究のイメージ】



5 研究の組織



- 環境部（校内掲示計画・校外飼育環境整備・緑化計画）
- 記録部（授業記録・協議会記録・実践記録の整理）
- 運営部（外部との連絡窓口・PTAの協力体制づくり）

6 研究の日程

月	日	曜	形態	内容（予定）
4	19	月	研推	今年度の研究の方向性について（研究主題・研究の視点）
	28	水	研推	今年度の研究の方向性について（研究主題 研究組織 検証授業）
5	13	木	全体	第1回全体会 研究全体計画の検討 授業者・各部会の決定
	20	木	全体	第2回全体会 理科・生活科理論研修 協働的な学習の目指す児童の姿の検討 児童アンケートについて
6	12	金	部会	指導案検討 5学年（理科）「電磁石のはたらき」※講師招聘授業
	17	木	全体	指導案検討 5学年（理科）「電磁石のはたらき」※講師招聘授業 指導案の形式 授業参観・協議会の持ち方確認
7	8	木	全体	検証授業 5学年（理科）「電磁石のはたらき」 ※講師招聘授業

9	2	木	全体	第3回全体会 研究の方向性の再確認
			部会	指導案検討 2学年(生活)「わたしのまちはっけん」
	30	木	全体	指導案検討 2学年(生活)「わたしの町はっけん」
10			部会	指導案検討 3学年(理科)「ものの重さ」
	14	木	全体	指導案検討 3学年(理科)「ものの重さ」
			部会	指導案検討 1学年(生活)「かぞくはなかよし」
	28	木	全体	指導案検討 1学年(生活)「かぞくはなかよし」
11	11	木	全体	予備日
	25	木	全体	検証授業 2学年(生活)「わたしの町はっけん」 ※講師招聘授業
12	2	木	全体	検証授業 3学年(理科)「ものの重さ」 ※講師招聘授業
	9	木	部会	検証授業 1学年(生活)「かぞくはなかよし」
2	3	木	全体	第4回全体会 研究紀要読み合わせ 来年度の方向性について①
3	10	木	全体	第5回全体会 研究のまとめ(成果と課題) 来年度の方向性について②